看護教育｜次号予告
JUNE. Vol.52 No.6
THE JAPANESE JOURNAL OF NURSING EDUCATION
2011 6
■一部変更になることもあります

特集 チーム医療を培う IPE

医療人共通教育としての「医学概論」
コミュニケーションを体験で学ぶ看護・医学合同セッションから　高塚人志
亥鼻 IPE の現在　看護学部・医学部・薬学部 3 学部合同カリキュラムの展開　酒井郁子
医療各職種それぞれの生涯教育がめざすもの　福原麻希
ケースで紹介する 多職種理解のカギになる協働アプローチ法　京極 真
看護教育者から見た IPE の可能性と意義　大塚眞理子
インタビュー●**多職種連携を支える「看護科学」のための教育を**　薄井坦子

【資料】
「**大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告」添付資料**（平成 23 年 3 月 11 日）

【連載】
『形態機能学』で看護教員が教えられること・5（最終回）　小林美智子
学生の目　教員のまなざし・6　日本赤十字広島看護大学
「教え方の本」を読む！・6　山岡美納子
やっぱり，私は看護師だった・6　那須あい
誌上 FD　自己決定できる「女性」を育てる　気づきと目覚めのジェンダー教育・18　沼崎一郎
Mail From USA ――『JNE』を読み，世界の看護教育の流れを知る・26　原田奈穂子

編集後記

◎編集室ツイッター　http://twitter.com/KANGOKYOIKU

●「循環型教育」によって，基礎教育現場と臨床現場をより結び付けようという考え方は，もしかすると看護独特のものかもしれません。なぜなら，同じ医療職である医学教育においては，基礎教育を行う教員と病院で実際に医療を行う臨床家は，ほぼ不可分だからです。●以前より，基礎教育の教員と臨床看護師の距離を縮めようという試みは多くありましたが，大学病院という臨床現場をもつ看護系大学においては，循環型教育の先に，医学教育のような形式を模索できる可能性もないわけではありません。専門学校が，ユニフィケーションという形式で「循環型教育」に目を向け始めた以上，約 200 校に増えた大学は，さらに先を見据える必要があるでしょう。看護教育 4 年制化を打ち出す以上は，そのくらいの覚悟で改革を進めていってほしいものです。…**大野**

●未曾有の天災に襲われる皆様に心よりお見舞い申し上げます。そのご快復を願ってやみません。●こうした折に義援金ブームが巻き起こるのは嬉しいニュースなのですが，比較的安心できる宛先として，日本赤十字社に衆目が一致することを再認識。創立者佐野常民の思いがずっと生きていることを気づかされています（看護歴史研究室吉川龍子さんによる伝記あり。吉川弘文館）。先人の“はじめのいっぽ”がどれほど貴重であるかを。●今春，本誌から『訪問看護と介護』誌に異動となります。この 3 年間は，政府での看護教育施策の審議過程とリンクした時期にて，同時に本誌 50 巻の節目も跨ぎました。自然と看護界の歴史を振り返る貴重な勤務をさせていただいたこと，ご支援いただいた方々に厚く御礼申し上げます。●次号は，着任時に本欄でひっそり予告していた「IPE」特集です。感謝。…**青木**

看護教育　第 52 巻　第 5 号　2011 年 5 月 25 日発行（毎月 1 回 25 日発行）
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan
一部定価 1,470 円（本体 1,400 円＋税 5%）　2011 年・年ぎめ予約購読料（増大号を含む 12 冊）
冊子のみ 16,250 円，冊子＋電子版 21,300 円，電子版／個人 16,250 円，電子版／共有 18,690 円（いずれも税込，送料弊社負担）
発行：株式会社医学書院　代表者：金原　優　〒 113-8719　東京都文京区本郷 1-28-23　販売部 TEL：03-3817-5657
『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776　メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp　担当：青木・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

JCOPY〈（社）出版者著作権管理機構委託出版物〉
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，㈳出版者著作権管理機構（電話 03−3513−6969，FAX 03−3513−6979，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。0047-1895/11/￥250/論文 /JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは，1 論文 1 回複写につき 250 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には，筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2011

2026/10/08 18:37:24

『看護教育』バックナンバーのご案内

[月刊]1部定価1,470円
(本体1,400円+税5%)
年間購読 好評受付中! 電子版もお選びいただけます。

2011年4月号
Vol.52 No.4
特集

男が看護を学ぶこと

"保助看法"の名称から「婦」の文字がなくなって10年が経ちました。今や臨床で勤務する看護師の5%以上が男性で占められています。准看護師で6%,保健師でも1%以上の男性が看護職としてはたらく現代にあって,基礎教育機関に在籍する男子学生比率はさらに顕著な伸びを示しています。ただ,女性が多数を占める看護界で,男性が依然としてマイノリティであることも事実。日本の一般社会との逆転現象がある中で,男たちは何を思って学び,これから新しい看護を育ててゆくのでしょうか。"ナースマン"の歴史を振り返りながら,その看護教育における実態と未来を見据えた特集です。
なお「看護師とは,社会的に重要でありながら,地位と処遇がそれに伴わない職業である」と喝破した上野千鶴子氏は,続けて男性の参入増加による社会学的な地位向上を分析しました。その予言は当たるでしょうか。

contents

■男性看護職の歴史的変遷と現在　今日的課題と期待される点 ……山崎裕二
■男性看護師研究会「侍」の挑戦　3学年合同男子ゼミナールの導入から ……大木清美
■「ソワニエ」で看護を学ぶ男たち　看護"男女共学"の長所と課題 ……持田千里・川西久枝
■男性看護師に期待される役割は変わったか　学生として,臨床・施設管理職として,教員として ……百田武司
■男性看護者の"サバイバル論"　ジェンダーの視点から考察する ……朝倉京子
■「ナースマン」が死語になる日 ……小林光恵

2011年3月号
Vol.52 No.3
特集

中小病院や施設に実習を求めて

看護教育機関としての大学の増加は、いまだとどまることを知りません。しかし、教育機関が増えるにしたがって頭を悩ませるのは、実習施設の確保です。附属病院のあるところや、大学化前からお付き合いのある病院があるところはともかく、新規に開拓するのはなかなか難しい状況です。そこで、今までは依頼することの少なかった中小規模病院や老人施設での実習が注目されています。
今回の特集は、今後ますます増えることが予想される、中小病院や施設での実習について、依頼する大学側と受け入れることになった病院・施設双方から、得られた成果や抱える問題点について紹介します。新たな試みにはリスクが付き物ですが、今まで得られなかった効果が期待できるというメリットを考えると、より深く検討する価値があると思うのです。

contents

■大学が中小規模病院や施設に実習を求めること ……板倉勲子
■中小規模病院が実習を受け入れること　その決断と成果 ……高岡哲子
■高齢者ケア施設だからこそ学べる看護の本質 ……牛田貴子
■中規模病院における看護学実習の肯定的受け入れ
実習指導者の受け入れ準備教育から考える ……猪俣満江
■高齢者施設で看護実習を受け入れて ……佐藤佐津紀・萩田妙子

【2011年2月号（Vol.52 No.2）】
特集 これからの看護教員養成
講習会ガイドライン活用と発展

【2011年1月号（Vol.52 No.1）】
特集 「看護教員が教える形態機能学」への道

【バックナンバーのご注文について】
■ vol.50 No.5 以降のご注文は、お近くの書店、または医学書院販売部にお申し込みください。
医学書院 販売部　TEL:03-3817-5659

■ vol.50 No.4 以前のものについてのご注文は、下記宛にお願いいたします。
(株)東亜ブック　TEL(03) 3985−4701　FAX (03) 3985−4703
E-mail: st@toabook.com　URL:http://www.toabook.com

●バックナンバーの詳しい目次は、小社ウェブサイト http://www.igaku-shoin.co.jp でご覧ください。

医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
[販売部]TEL:03-3817-5657　FAX:03-3815-7804
E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp　http://www.igaku-shoin.co.jp　振替:00170-9-96693
携帯サイトはこちら

消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2011